

いきいき やしお

“産業フェスタ 2005” を開催



6月26日、八潮メセナにおいて“産業フェスタ2005”が開催され、優良技術者・技能者に、東京第一合成(株)の鈴木光男さんと(有)笠巻鉄工所の白川昇さんが表彰されました。また、「地域経済振興条例大綱の最終答申」が行われた後、「はばたけ八潮市 地域経済振興条例」をテーマとしたシンポジウムが行われました。シンポジウムでは、条例大綱の審議過程や今後の展開などが発表され、参加した多くの市民の皆さんは、熱心に耳を傾けていました。

優勝に向けて熱戦が繰り広げられる



6月19日、すえひろ荘ゲートボール場で、「第25回八潮市民ゲートボール大会」が開催されました。26チームで優勝が争われ、声援やアドバイスが交わされる和やかな中にも、各チームとも優勝に向けた闘志が表れていました。優勝は「和耕Cチーム」、準優勝は「高木Aチーム」、第3位は「大瀬Bチーム」でした。

写真館

行ってみよう なりまち



近隣4市1町のイベント情報をお届けします。ぜひ、お出かけください。

越谷市

越谷花火大会
7月30日(土) 午後7時～(小雨決行、雨天・強風の場合は中止)
中央市民会館東側、葛西用水中土手(越谷駅東口徒歩10分)
約5000発の打ち上げ花火が夏空を彩ります。※当日は会場周辺の交通規制を行います。

交通規制を行います。
越谷市観光協会 ☎966・6111

アコス南館アコスホール(草加駅東口)
美空ひばり、東儀秀樹、飯田佳織、パイヤ鈴木、八代亜紀、加山雄三、などの有名芸能人49人の絵画作品110点を展示
500円(前売り400円)、中学生以下・障害者は無料(チケットは、生涯学習課、中央図書館、アコスホール事務所、市内各公民館、物産情報館等で販売)
草加市生涯学習課 ☎922・2830

30分開場
田園ホール・エローラ(北越谷駅東口からエローラ行きバスで「中央公民館前」下車)
松田真朝、ピカソ、ハウリング・バツフライ
前売券2500円、当日券3000円(全席指定)
財松伏町ふるさと文化財団 ☎992・10001

草加市

芸能人の多才な美術展
7月9日(土)・17日(日) 午前10時～午後6時(最終日は午後4時まで)
草加市文化会館 ☎958・9900

松伏町

METRONOM SUMMER 2005 ポップス・コンサート
「めぐん一刻」のあの“ピカソ”がエローラにやってくる!
8月7日(日) 午後3時開演(2時間)

吉川市

駅前夕市
吉川産の新鮮でおいしい野菜を夕食の食卓にどうぞ!
7月28日(木) 午後4時～(2時間程度)
吉川駅北口ロータリー内
吉川産の取れたて農産物の即売
吉川市農政課 ☎982・9482

文芸欄

詩

紫陽花 伊草 中山 靖子
学校帰りの孫と出合った
孫は人差し指を私に向けて
「バビュン」と言った
私は自転車の上から
「やられた!」と言って
オーバーに手を上げると
孫はニコッと笑った
友達が駆け寄って
「あのんだれ?」と聞く
孫は「僕の祖母ちゃん」と胸を張る
梅雨の晴れ間に紫陽花が輝いている

八潮七 佐藤 千和
あやめ咲く閑能会の義経と
静の舞の烏帽子悲しや
大曽根 白方美代子
明け近く雨となりたる気配して
部屋の水仙ほのかに匂ふ
南川崎 松谷 永子
メルヘンの空にふたえの虹の橋
しばし見つめる梅雨の夕暮れ
南川崎 小野塚喜代子
朝ドラの「フアイト」の看板見て過ぎる
四万温泉より帰りの道で
中央一 猪瀬 利助
萌え出する若葉青葉の森深く
羽搏く鳥にわれはなりたし
八 條 斎藤 孝男
幼き日ともに遊びし蚊帳の中
離れし兄はさいはてに逝く
伊勢野 柿沼 清
山古志を半年ぶりに見る人は
熱き瞳で手を合わせおろ
八 條 種村 幸子
クッションとくしゃみし眠る新生児
ニイツと笑うも眠りの中で

俳句

緑町三 岩田 苑江
釘を打つ音も湿りぬ青嵐
緑町五 藤波 ふみ
街灯の消えぬ裏道梅雨の昼
八潮七 小倉 孝義
公園の彩り深し青葉かな
鶴ヶ曽根 平本 愛子
葉桜の堤防添う夕の月
八 條 杉村 知香
葉隠れに青梅の数ひそみをり
緑町五 村田 恭子
名園の池のさざ波薫る風
伊草 井上 進寿
節樽の母の縫いたる浴衣かな
大曽根 小倉 義孝
梅雨空や傘の列引く通学路
八潮七 茂村 つ留
義経の歴史ひもとく梅雨の午後
大曽根 藤郷千代子
花密柑散りし花びら香のほのか
八潮七 石井 忠枝
肩の児もそいそいそ三社祭
木曽根 古根 昌明
美谷室出でし乙女や風光る

大曽根 横山 英道
緑蔭や柏子木打って紙芝居
八 條 加藤 龍子
書物伏せしはし聞き入る蛙の音
大曽根 根岸佐代子
初夏の風街の並木を吹き抜ける
中央一 尾形 ツネ
新人生手を引く母の笑顔見る
中央二 大久保きよ子
振り返り散りゆく桜惜しむなり
大曽根 横山 正夫
子供の日親子の絆確かめぬ
伊草 谷上 英子
鯉のぼり待ちに待った日祝酒
大瀬 吉川 照子
鯉のぼりゆつたり天を翔け昇る
大瀬 白倉 サキ
あじさいや日増しに色の新たなる
大瀬 鹿野久太郎
鯉のぼり空を仰いで深呼吸
垢 森田エミ子
春光に制服の孫かがやけり
八 條 小金丸美智子
暮参りただひたすらに墓洗う
中央一 斎藤 富吉
まどろみて風の音聞く茅花かな

短歌

初夏の風マロニエ並木の葉擦れ音
わが難聴を癒し揺れる
二丁目 田中 祐子
無造作に束ねて並ぶ直売りの
切り花選ぶ故里の山道

短歌

木曽根 高谷 多門
初夏の風マロニエ並木の葉擦れ音
わが難聴を癒し揺れる
二丁目 田中 祐子
無造作に束ねて並ぶ直売りの
切り花選ぶ故里の山道